

R財団ポリオ・プラス委員会

委員長 豊澤 たつみ (Rotary E-Club Sunrise of Japan)

【活動基本方針】

ポリオ・プラスは国際ロータリーの特別プログラムで撲滅の証明が達成されるまで、他のすべてのプログラムに優先されます。

ポリオ撲滅とは、世界保健機関（WHO）の定義と同じく野生株のポリオ・ウイルスの伝播を止めるという意味です。

2007年にビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団よりポリオ撲滅の為に、1億ドル、2009年1月2億5500万ドルの追加寄付、同財団の合計3億5500万ドルの寄付に対して、ロータリー財団は2012年6月30日までに2億ドルを集めることに同意しました。

この2億ドルのチャレンジは2012年1月17日現在2億260万ドルとなり、目標額を達成しました。同時にゲイツ財団より5,500万ドルの追加補助金を申し出られました。当地区目標は2012年6月30日までに432,000ドルに対して、100%に至っておりませんが、皆様からの寄付金により2012年1月26日現在、432,611ドルとなり目標額は達成することができました。

世界で野生ポリオ・ウイルスは、4か国（アフガニスタン、インド、パキスタン、ナイジェリア）のみに常在しています。インドでの発症が2012年1月13日までの1年間0件となり、常在国のリストから外される可能性が高くなりました。

しかし、ポリオはまだ撲滅されていません。ポリオ・プラスへの寄付はまだまだ必要と思われるので、皆様からのご寄付をお願いいたします。

【活動計画】

2012年7月7日地区ロータリー財団セミナーの開催時、ポリオ・プラスの啓蒙を行う。地区行事の中でもポリオ・プラスの募金活動ができればよいと思っています。